

## 人権推進課

人権推進課の取組は、平成 13 年 1 月に施行した「三木市人権尊重のまちづくり条例」に基づき行っている。具体的には、あらゆる人権課題への取組を推進し、人権が尊重される明るく住みよい社会の実現を図ることを目的として平成 15 年度から策定している「三木市人権尊重のまちづくり基本計画」（以下「基本計画」という。）を実行に移すため、全ての行政分野における人権行政の確立に向けた全庁的な取組として「三木市人権尊重のまちづくり実施計画」（以下「実施計画」という。）を平成 16 年度から毎年策定し、関係各課が計画した事業の推進に取り組んでいる。

また、平成 23 年度には、人権尊重のまちづくり推進の地域拠点として公民館を活用することや、「三木市人権・同和教育協議会」（以下「三同教」という。）の活動の活性化などに重点を置いて、「基本計画」の見直しを図り、それに基づく「実施計画」により新たな人権施策による効果的な人権教育・啓発を推進している。

平成 28 年度に実施した「人権に関する市民意識調査」「同和問題解決に向けた実態調査」「外国人市民実態調査」及び「男女共同参画に関する市民意識調査」の結果から、これまでの施策の成果として人権意識が日常生活に根付いてきていることがうかがえた。しかし、若い世代での無関心層の増加や、社会全体に依然として差別意識が残っていることも明らかになった。

平成 29 年度には、これらの調査結果に基づいて平成 30 年度から 7 年間の「三木市人権尊重のまちづくり基本計画（第 3 次）」及び「三木市男女共同参画プラン（第 3 次）」を作成し、それに従い平成 30 年度以降毎年実施計画を策定し、人権施策の推進を図っている。

### 1 人権尊重のまちづくり推進事業

#### (1) 人権尊重のまちづくり実施計画の推進

「実施計画」に関して、令和元年度の各課題に対する取組・推進状況を上期（平成 31 年 4 月～令和元年 9 月）と全期（平成 31 年 4 月～令和 2 年 3 月）に分けて各部に提出を求め、三木市人権尊重のまちづくり推進審議会に報告の上、意見等を聴取した。

また、審議会での意見、各施策の取組状況を次の場所において公表した。

- ・公表場所 市ホームページ、市役所情報公開コーナー、総合隣保館

#### (2) 三木市人権尊重のまちづくり推進審議会の開催

「三木市人権尊重のまちづくり条例」に基づき、平成 13 年 6 月に三木市人権尊重のまちづくり推進審議会を設置した。

審議会の構成メンバーは、広く市民の意見を反映させるため、各種関係団体代表者と一般公募者、学識経験者の計 20 人で構成している。

- ・委員任期 令和元年 6 月 1 日～令和 3 年 5 月 31 日
- ・開催日 令和元年 9 月 27 日、令和 2 年 3 月 24 日（書面意見交換）
- ・議題 「令和元年度三木市人権尊重のまちづくり実施計画（案）」について  
「令和元年度三木市人権尊重のまちづくり実施計画」の取組状況について

### 2 同和生業資金償還事業

昭和 50 年度から 56 年度まで実施した同和生業資金の貸付にかかる償還について、残る滞納者は 4 人、滞納額は 3,078,355 円（令和 2 年 3 月末）となっている。

滞納者に対しては、電話や文書、訪問などの方法を通じて個々の事案を十分に調査、把握し、それぞれの状況に応じた適切な償還方法で滞納解消に努めている。

### 3 男女共同参画事業

平成11年6月に施行された「男女共同参画社会基本法」及び平成13年1月に施行された「三木市人権尊重のまちづくり条例」を踏まえ、「三木市男女共同参画プラン（第3次）」及び「三木市男女共同参画プラン実施計画」を策定し、男女共同参画社会の実現に向けた施策を推進している。

男女共同参画センターでは、「男は仕事、女は家庭」などの固定的な性別役割分担意識や、社会の制度や慣行の中にある偏った意識を変えていくため、男性講座や女性講座の実施、女性の相談事業、活動や交流の支援、情報誌の発行、情報の収集と提供を行っている。

また、女性たちがネットワークを広げることや女性の人材育成などの支援を行っている。

#### (1) 三木市男女共同参画セミナー

##### ア 出前講座

回	開催日 会場	講師	内容	参加人数
1	5月23日 緑が丘町公民館	斉藤容子 (関西学院大学災害復興制度研究所 指定研究員)	と <sup>も</sup> 男女に学ぼう防災	47
2	7月8日 細川町公民館	森田充代 (古典文学研究家)	時代のはじまりと未来～「女へん」からよみとる～	20
3	8月9日 自由が丘公民館	中井さとみ (行政書士)	エンディングノートがつなぐ 家族の絆	120
4	9月19日 志染町公民館	てんご堂雅楽 (噺家)	人生100年時代、笑いの効能 で長生きを!	72
5	10月16日 吉川町公民館	森田充代 (古典文学研究家)	時代のはじまりと未来～「女へん」からよみとる～	40
6	10月23日 三木南交流センター	中井さとみ (行政書士)	エンディングノートがつなぐ 家族の絆	75
7	11月22日 別所町公民館	江上昇・桂山智哉 (元漫才師・尼崎市役所職員)	お笑い行政講座 男女がともに活躍できる社会って?	66
8	12月3日 まなびの郷みずほ	藤原たか子 (マイスター工房八千代施設長)	工夫の巻き寿司で町おこし～ 女性が輝き地域も輝く～	150
9	2月5日 口吉川町公民館	家島明彦 (大阪大学キャリアセンター副センター長)	男らしさ・女らしさはつくられる～ メディアが及ぼす影響～	9
10	2月9日 青山公民館	島田妙子 (児童虐待防止機構オレンジ CAPO 理事長)	幸せって何だっけ?～命と心輝かせ～	62
11	2月18日 中央公民館	三遊亭楽団治 (アマチュア落語家)	男女共同△(参画)は○(まゝ)くネ。	121
合 計				782

イ 弁護士による法律セミナー

開催日	場所・講師	内 容	参加人数
11月27日	教育センター 吉倉美加子 (弁護士)	弁護士相談のススメ～ご存知ですか？こんな相談もできるって～	24

ウ 男性のための簡単料理講座

回	開催日	場所・講師	内 容	参加人数
1	10月3日	総合保健福祉センター (三木市いずみ会)	準備からすべて参加者で行い、自分で食べる分を自分で作る	11
2	11月13日			11
3	12月6日			11

エ 男女共同参画セミナー

開催日	場所・講師	内 容	参加人数
1月31日	教育センター 仲岡しゅん (弁護士)	自分らしい生き方って？～多様な性の存在と生き方の尊重～	92

オ 就業支援のためのセミナー

回	開催日	場所・講師	内 容	参加人数
1	9月28日 (兵庫県との共催)	教育センター 岩崎飛鳥 (神戸学院大学専任講師)	女性のための働き方セミナー 「仕事も生活も楽しむ！～タイムマネジメントを身につけよう～」	9
2	①10月24日 (ハローワーク西神との共催)	教育センター ①ハローワーク西神 就職支援ナビゲーター ②戸川はつみ ナリス化粧品ゼネラルマネージャー	女性のための就活応援セミナー (2回連続講座) ①履歴書・職務経歴書の書き方・面接対策 ②プロ直伝メイク技で好印象を！	7
	②10月30日			6
3	11月29日 (ハローワーク西神との共催)	サンライフ三木 ハローワーク西神 神戸財務事務所	就活の進め方&マネー講座	10
4	1月20日	教育センター 土出麻美 (ウェブライター、 ブログ運営)	自分らしい生き方をかなえるためのネットショップ開設講座 (2回連続講座)	8
	1月27日			8

カ 護身術セミナー

開催日	場所・講師	内 容	参加人数
8月10日	市民活動センター 三木警察署員 (生活安全課)	いざという時に自分の身を守る方法 (実技指導)	30

(2) 男女共同参画週間記念講演会

開催日	場所・講師	内 容	参加人数
6月29日	市民活動センター 伊藤公雄 (京都産業大学現代社会学部教授)	地域社会に活気を！	60

(3) 市職員対象の男女共同参画研修

開催日	場所・講師	内容	参加人数
10月7日 ① 10時00分～11時30分 ② 13時30分～15時00分	教育センター 斉藤容子 (関西学院大学災害復興 制度研究所 指定研究員)	男女共同参画と防災	①108 ②106

(4) 市民企画講座

男女共同参画社会を実現するために、男女共同参画センターが実施する事業の他に、地域で活動している市民や団体と協働して取り組む事業として、市民や団体が企画する男女共同参画に関する講座を公募し、講座を実施するための支援を行った。

ア 募集期間 6月1日～7月31日

イ 募集件数 1件

ウ 実施団体 三木自由が丘東学級

開催日	場所	内容	参加人数
11月10日	緑が丘町公民館	プレパパママ体験 赤ちゃん先生に学ぼう	22

(5) 啓発

ア 男女共同参画週間啓発展示

6月23日から29日の「男女共同参画週間」に、市役所に啓発用のぼり旗を設置した。また、市役所プロムナードで、パネル展を実施した。

イ 11月12日にイオン三木店前において、三木警察署との共催で女性に対する暴力をなくす運動の啓発カードやティッシュを配布した。

ウ その他の啓発

	実施日	場所	行事名	内容
1	7月1日～7月31日	口吉川町公民館	文化祭等	パネル展示
2	9月2日～10月2日	自由が丘公民館		
3	9月4日～9月29日	別所町公民館		
4	10月11日～10月15日	緑が丘町公民館		
5	11月7日～11月11日	志染町公民館		
6	11月22日～11月24日	中央公民館		
7	11月22日～12月15日	吉川町公民館		
8	12月6日～12月8日	総合隣保館		

(6) 情報誌の発行

情報誌編集グループの協力を得て企画、編集を行い、情報誌「こらぼーよ」を発行した。

ア 発行回数：4回

イ 発行部数：5,000部/回

ウ 配布方法

(ア) 市内公共施設全般、大型店舗、公共交通機関の駅、近隣市町などへの配布

(イ) 各自治体での回覧

(ウ) 男女共同参画センター主催事業の参加者への配布

エ 発刊号名称、掲載内容等

発刊号名称	ページ数	主な掲載情報
第 48 号 2019・春	A4 判 4P	<ul style="list-style-type: none"> <li>・わが子を性の被害者にも加害者にもさせないための性教育</li> <li>・学生主導で作られた性的同意に関するハンドブックが素晴らしい!</li> <li>・エンディングノートがつなぐ家族の絆</li> <li>・部活女子のからだを守ろう!</li> </ul>
第 49 号 2019・夏	A4 判 2P	<ul style="list-style-type: none"> <li>・男女共同参画週間記念講演会</li> <li>・「子どもを 3 人産んで」発言に感じたこと。</li> <li>・わが身を守る知恵の大切さ。警視庁の防犯アプリが非常に有効!!</li> <li>・靴×苦痛×#MeToo=#KuToo?!</li> </ul>
第 50 号 2019・秋	A4 判 4P	<ul style="list-style-type: none"> <li>・性犯罪「無罪判決」相次ぐ・・・司法の見解と、民意のズレに疑問</li> <li>・新しいコンセプトの住宅、発見!</li> <li>・女性ばかりが優遇されている?!男女共同参画の目的とは</li> <li>・浸透している? LGBT への関心理解</li> </ul>
第 51 号 2020・冬	A4 判 4P	<ul style="list-style-type: none"> <li>・もっと父親も子育てに参加することが当たり前の社会に・・・</li> <li>・性への配慮と集客～献血ポスター炎上に思ったこと</li> <li>・初めての子育てに寄り添う「50 年前の育児書」</li> <li>・身近な生活に溢れる「名もなき家事」が話題に!</li> </ul>

(7) 三木市男女共同参画センター運営委員会

任 期：2 年（令和元年 5 月 1 日～令和 3 年 4 月 30 日）

委 員 数：12 人（女性 8 人、男性 4 人）

活 動 内 容：男女共同参画センターの運営、事業及び取組に協力するとともに協議を行う。

開 催 回 数：5 回

(8) 女性のための相談室

女性問題相談員（2 人、1 日 1 人対応）が、男女共同参画センターで電話相談及び面接相談に当たっている。

ア 相談日時

(7) 電話相談：毎週火曜日 午前 10 時～正午、毎週木曜日 午後 1 時～4 時

(4) 面接相談：毎週火曜日 午後 1 時～4 時、毎週木曜日 午前 10 時～正午（要予約）

イ 相談件数

225 人（電話 120 人、面接 105 人）から相談があった。内容別相談件数は、490 件（電話 248 件、面接 242 件）となっており、主な相談内容は次のとおりである。

順位	相談内容	件数	割合 (%)
1	生き方	141	28.8
2	対人関係	91	18.6
3	家族関係	81	16.5
4	こころ	69	14.1

(9) 女性のための弁護士相談

配偶者や恋人間のトラブル（DV 対策、ストーカー被害、借金）、離婚（親権、養育費、財産分与）などの女性の悩みに理解のある女性弁護士が行う面接相談（無料）を実施した。

ア 相談弁護士：兵庫県弁護士会から選任された弁護士

イ 相談日時：毎月第 4 水曜日

午後 1 時 50 分～午後 4 時 30 分（1 人 40 分）

ウ 相談人数 : 39 人

(10) 女性のためのチャレンジ相談事業（三木市・兵庫県共催）

再就職、起業、資格取得などをめざす女性のためのチャレンジ相談を実施した。

ア 相談日時：7月22日 午前9時～正午（1人50分）

イ 相談員：飯鉢仁弥（キャリア・デベロップメント・アドバイザー、産業カウンセラー）

ウ 相談人数：3人

(11) 男女共同参画センター登録グループの活動

女性の地位向上、男女共同参画社会の実現をめざした学習活動を行うグループや、女性の社会参加を促進し実践するグループに対し、活動支援を行った。

回	グループ名	会員数	活動内容
1	みず. (どっと) みきず	6	学習会の開催、講座の企画及び開催など
2	ほっとカフェ	3	自主学习、まなび合い
3	情報誌編集グループ	6	男女共同参画センター情報誌の企画・編集、市民への情報の周知など

(12) DV被害者の新たな生活応援事業「こらばーよステーション」

お金や身の回りの物を持ち出せずシェルターなどに緊急避難したDV被害者が、シェルター退所後に自宅以外で新たな生活を始めるられるように、自宅で不要になった生活物資の寄贈を市民に呼びかけ、寄贈を受けた物資をDV被害者に提供することにより、新たな生活を始める手助けを行った。

ア 寄贈者：11人

イ 寄贈物品数：120点（台所用品：22点、日用雑貨：73点、その他：25点）

(13) 図書・情報の提供

ア 男女共同参画センターの一面を男女共同参画社会の実現を目的とした個人やグループでの活動に自由に利用できる場所として提供している。また、女性・男性問題や男女共同参画に関する図書を整備し、貸出も行っている。（貸出は1人5冊、2週間）

図書蔵書数2,543冊（令和元年度購入及び寄贈58冊）、ビデオ・DVD46種類

利用者29人、貸出冊数85冊

イ 各地の男女共同参画センターが発行している情報誌や講座案内のチラシなどを配架し、自由に閲覧・配布できるようにしている。

(14) その他

時間に制約のある中で、家事、育児を効率よくするために日頃工夫していることを懇話会形式で話し合う「時短家事アイデアシェア会」を開催した。

ア 日時：2月15日 午前10時から11時30分

イ 会場：教育センター

ウ 参加者数：12人

## 4 配偶者暴力相談支援事業

(1) DV相談室（配偶者暴力相談支援センター）

婦人相談員によるDV相談・支援を行っている。（場所は非公表）

ア 相談日時：毎週月曜日～金曜日 午前9時から午後5時まで

イ 相談件数 : 538件（電話313件、面接225件）

ウ 相談者実人数 : 133人

エ 関係機関への連絡：25件

オ 証明書発行 : 27 件  
 カ 一時保護支援 : 6 件

(2) 相談窓口の啓発

11月に市内の1か所の大型店舗でDV相談室啓発カードを配布し、啓発を行った。

## 5 人権相談事業

人権擁護委員(11人)による相談事業を実施した。

(1) 定例相談

日時・会場	毎月第1金曜日	午後1時～4時	緑が丘町公民館
	毎月第3木曜日	午後1時～4時	市役所2階入札控室
	5、8、10、3月の 第2木曜日	午後1時～4時	吉川支所多目的室

(2) 特設相談

人権擁護委員の日	6月7日	午後1時～4時	緑が丘町公民館
人権週間	12月5日	午後1時～4時	吉川支所多目的室
	12月19日	午後1時～4時	緑が丘町公民館

## 6 人権教育事業

(1) 人権教育指導員研修会

社会教育における人権教育・啓発の推進リーダーとしての資質の向上を図るため実施した。

回	開催日・会場	研修内容	参加人数
1	4月25日 総合隣保館	今年度の活動、研修計画について 30年度の研修の振り返り 市民運動作品(標語・作文)審査員の決定	18
2	5月18日 市民活動センター	三同教総会	10
3	5月23日 総合隣保館	人権啓発ビデオ「君が、いるから」視聴と参加体験型学習(じんけん釣りゲーム(Aパターン)、あれ、どこかがちがう)	19
4	6月13日 総合隣保館	人権作文・標語の審査	13
5	7月25日 総合隣保館	住民学習に向けて DVD視聴 部落の歴史	18
6	8月18日 三木市文化会館	市民じんけんの集い	14
7	9月26日 立正学園	館外施設見学	12
8	10月24日 総合隣保館	住民学習の状況及び各地区の交流、DVD視聴	17
9	11月16日 三木市文化会館	三同教研究大会	15
10	1月23日 渋染一揆終結の地 岡山市渋染一揆資料館	館外フィールドワーク	12
11	2月27日 総合隣保館	人権DVD試写会	20
12	3月19日 総合隣保館 中止	今年度の反省とまとめ	0
合 計			168

(2) 人権教育に関する講座

市民の人権意識の高揚を図るため開催した。

回	開催日時等	研修内容	参加人数
1	5月18日 市民活動センター	三木市人権・同和教育協議会総会 講演 「インターネットによる人権侵害 ～差別書き込みの被害者を救え～」 講師 (株)情報文化総合研究所 佐藤 佳弘	326
2	8月18日 三木市文化会館	市民じんけんの集い 講演 「『寝た子』はネットで起こされる!? ～暴き・晒される部落差別～」 講師 (一社)山口県人権啓発センター 事務局長 川口 泰司	533
3	12月2日 教育センター	「いじめ・不登校を考えるフォーラム」 (兼教育センター専門研修講座) 講演 「不登校ゼロをめざして～学校・家 庭・地域でできること～」 講師 名城大学 教授 曾山 和彦	70
合 計			929

(3) 社会教育指導者養成

住民学習の学習内容・実施方法等を学ぶため、住民学習の指導者に対し実施した。

事業名	内 容	実施日	実施場所
住民学習指導者研修	実施回数 21回 参加者人数 1,179人 行政職、教職員、人権教育指導員 他 各地区地推協等で実施	年 間	各公民館 市役所
住民学習リーダー研修 (上記との重複分 は除く)	実施回数 8回 参加者人数 227人 区長、社会教育推進委員、地推協 役員他 各地区地推協等で実施	年 間	各公民館 市役所

## (4) 住民学習

人権尊重のまちづくりを進めるため各自治会・各地区人権・同和教育推進協議会で実施した。

事業名	内 容	実施日	実施場所
住民学習会	三 木 地 区 45回 778人	7月～3月	各地区
	三 木 南 地 区 11回 237人		
	別 所 地 区 16回 378人		
	志 染 地 区 22回 392人		
	細 川 地 区 22回 331人		
	口 吉 川 地 区 16回 354人		
	緑 が 丘 地 区 7回 216人		
	自 由 が 丘 地 区 13回 340人		
	青 山 地 区 6回 106人		
	吉 川 地 区 46回 1,067人		
合 計 204回 4,199人			
地区別人権・ 同和教育研究 大会	三 木 地 区 参加者 120人 内容 <人権フェスティバル>人権作文朗読・人 権パネル展示・人権クイズコーナー	11月 23・24日	中央 公民館
	三 木 南 地 区 参加者 50人 内容 講演「地域における子育て環 境を考える」～子どもたちを 健やかに育むために～ 講師 関西国際大学講師 田中亜裕子	1月25日	三木南交流 センター
	別 所 地 区 参加者 162人 内容 人権作文朗読と実践発表・講 演 講師 岩田 勝	1月26日	別所町 公民館
	志 染 地 区 参加者 135人 内容 人権作文朗読と実践発表 講演会「インターネットの世 界と人権」 講師 NIT情報技術推進ネットワー ク株式会社 篠原 嘉一	11月10日	志染町 公民館
	細 川 地 区 参加者 84人 内容 人権作文朗読・実践発表 人権講演会 「みんなが笑顔になるため に」 ～人権への気づきと実行～ 講師 三木市人権・同和教育協議会 (三同教) 副会長 春川 政信	12月1日	細川町 公民館
	口 吉 川 地 区 参加者 66人 内容 人権作文朗読と実践発表・講 演 「部落差別解消推進法につ いて」	12月7日	口吉川町 公民館

講師 全国隣保館連絡協議会事務局長 中尾 由喜雄			
緑が丘地区 参加者 122人 作文発表、実践発表	2月9日	緑が丘町 公民館	
自由が丘地区 参加者 126人 内容 人権作文朗読と講演会 「人権を大切にした家庭・地域づくり」 講師 元三木市公立学校長 春川 政 信	2月16日	自由が丘 公民館	
青山地区 参加者 23人 館外視察研修	11月23日	ピースおお さか大阪国 際平和セン ター、ほか	
吉川地区 参加者 95人 あったかいいいな大会 内容 作文発表・講演「地域に暮らす外国人たち」～言葉の壁を越え、心の距離を縮めるには～(三木市国際交流協会)小・中学生作品展示 館外研修報告	12月14日	吉川町 公民館	

(5) 団体別学習

婦人会、PTA、老人クラブ、民生委員児童委員等の団体別学習を実施した。

事業名	内 容	実施日	実施場所
団体別研修会	婦人会・老人クラブ・登録団体 36回 1,532人	年 間	各地区
保・認・幼・小・中・特別支援学校 PTA 人権・同和研修会	保・認・幼稚園(所) 10園 参加者 683人 小・特学校 17校 参加者 5,968人 中学校 8校 参加者 3,751人	年 間	各学校

(6) 人権教育総合推進事業

ア 教育事業

人権尊重の仲間づくりや地域づくりをするために実施した。

事業名	回数	参加人数	場 所
A 地区教育事業	成 人	0	各地区公民館・集会所等
	青少年	91	
B 地区教育事業	成 人	4	"
	青少年	0	
C 地区教育事業	成 人	0	"
	青少年	90	
D 地区教育事業	成 人	0	"
	青少年	0	
E 地区教育事業	成 人	5	"
	青少年	89	

F 地区教育事業	成人	0	0	各地区公民館・集会所等
	青少年	0	0	
G 地区教育事業	成人	1	20	〃
	青少年	46	125	
H 地区教育事業	成人	0	0	〃
	青少年	0	0	
I 地区教育事業	成人	0	0	〃
	青少年	95	904	
J 地区教育事業	成人	1	38	〃
	青少年	64	266	
教育事業学習交流会	青少年	1	58	三木山総合公園 総合体育館

#### イ 人権リーダー育成講座

人権学習会等で、リーダーとして活躍できる人材の育成をめざして実施した。

回	開催日・会場等	研修内容	参加人数
1	1月23日 岡山県	被差別部落の人々の人権獲得の歴史にふれる 岡山市人権啓発センター・渋染一揆資料館	7
2	2月27日 総合隣保館	人権啓発 DVD 視聴	5
合 計			12

#### ウ 人権教育団体活動助成事業

市民団体等の人権に関わる教育活動を支援した。

登録団体名	活動内容
テアトロ三木	人権問題について演劇を通じて広く啓発
鳥町推進協議会	学習会やイベントを通じた人権意識高揚を図る
いのちを考える 三木市民の会	いのちの尊厳を学ぶ人権学習会等の開催
人権書道きらきら	「書」を通じて自由に交流を楽しむ
まなびや・いちご 塾	子どもの人権等、さまざまな人権学習の開催
NPO 法人自立生活 支援センター歩	さまざまな人権問題に関する講演会等の開催

## 7 人権啓発に関すること

### (1) 啓発資料の作成

以下の資料を作成・編集し、配布した。

- ア 人権問題啓発資料「ふるさとに生きる Vol.29」・・・【市内全戸配布】
- イ 人権作文集第49集・・・【学校園他配布】
- ウ 第35回三木市人権・同和教育研究大会研究集録・・・【三同教関係団体配布】
- エ 人権教育実践記録集第45集・・・【三同教関係団体配布】
- オ 視聴覚資料一覧・・・【学校、企業、各団体】

(2) 人権尊重のまちづくり推進強調月間

人権尊重のまちづくりの機運を醸成するため、以下の取組を実施した。

ア ポスター・標語・作文の募集

作品区分	ポスター（点）	標語（点）	作文（点）
小学校	3,295	3,380	2,398
中学校・特別支援学校	1,753	1,854	1,821
PTA・一般	募集せず	74	40
合計	5,048	5,308	4,259

イ 広報活動

- (ア) スローガン入りウエットティッシュの配布
- (イ) 公用車の啓発マグネットシートの貼付
- (ウ) 啓発ポスター・標語ポスターの作成配布
- (エ) 「広報みき(8月号)」等による啓発
- (オ) 人権尊重のまちづくり推進強調月間街頭PR（イオン、コープ等）
- (カ) みっきい広場において啓発ポスター等の展示

ウ 「市民じんけんの集い」の開催

- (ア) 人権作文・標語・ポスター優秀作品の表彰
- (イ) 講演「『寝た子』はネットで起こされる!? ～暴き・晒される部落差別～」  
講師 (一社)山口県人権啓発センター  
事務局長 川口 泰司

## 8 三木市人権・同和教育協議会

三同教と連携することにより、部落差別をはじめ、あらゆる差別を解消するための人権・同和教育の推進を図った。

(1) 総会、研究大会、専門部会研修会

市民の目線で人権・同和教育や啓発を進め、人権尊重のまちづくりを進める研修会等を行った。

(2) じんけんサポート事業（54件）

PTAや老人クラブなどの団体や企業が人権研修会や視察・交流研修などを行う際の費用の一部を補助した。

(3) じんけんスタディ事業（中学校4件、高等学校3件、大学3件）

若者層への人権意識の高揚、啓発のため中・高・大学生を対象として、デートDVなどの人権研修を実施する中学校、高等学校及び大学に対し経費の一部を助成した。

(4) じんけん・こころの小窓事業（52回）

人権についての身近な話題をラジオ番組で提供した。

(5) フィールドワーク事業（0回）

人権にかかわりのある地域や史跡などを訪れ、差別の歴史や人々の思いなどを学ぶことにより、差別や偏見を解消していく機運を高めるための研修を開催する事業である。3月14日に計画していたが、新型コロナウイルスの感染拡大防止のため中止した。

(6) じんけんリーフレット作成事業（15,000部）

これまでに市民から募った人権メッセージのうち優秀な作品をもとに「じんけんリーフレット」を作成し、啓発を図った。

(7) 学習活動支援事業（17件）

研究大会や各種研修に参加する人に対する支援を行い、学習機会を拡大し、人権教育・啓発活動の活性化を図った。

(8) 人権ふれあい交流事業（3回）

令和元年度は、市民じんけんの集い（8月18日）に合わせてバリアフリー映画会としてディズニーアニメ映画「ファインディング・ドリー」上映会を、三同教研究大会（11月16日）の特別分科会としてディズニーアニメ映画「トイ・ストーリー3」上映会をそれぞれ開催した。また、先の上映会2回と総合隣保館文化祭のうち2回参加すると記念品が貰えるスタンプラリーを企画して、多くの市民の参加意欲を高め、人権啓発の機会を創出した。

(9) 青少年教育補助事業（17件）

子どもたちのたくましい心を育てていくため、地域に根差す人権団体に対し、教育事業に係る経費を助成した。

(10) スリーサポーターズ登録制度（53人）

三同教の活動に興味を有する地域住民の方をスリーサポーターズとして登録し、活動に参画していただくことで、三同教の活動の活性化を図った。

(11) インターネット差別書き込みモニタリング事業

市からの受託事業。インターネットのモニタリングにより差別書き込みを早期発見し、サイト管理者等に削除を依頼して拡散防止並び抑制を図った。また、インターネット上での差別書き込みの現状を周知し、市民からの情報を受け付け、差別解消に向けた取組の必要性を啓発した。（令和元年6月27日開始）

ア 監視回数：77回

イ 発見件数：19件（うち市民からの情報提供件数 2件）

ウ 削除依頼件数：15件

エ 削除済件数：6件

## 9 総合隣保館事業に関すること

(1) 隣保館運営委員会

隣保館の運営方針及び主要な事業の企画等、館の適正かつ円滑な運営を図るため開催した。

回	開催日	審議内容	参加人数
1	6月4日	(1) 平成30年度総合隣保館事業実施状況について (2) 平成30年度総合隣保館利用状況について (3) 令和元年度総合隣保館運営方針（案）について (4) 令和元年度総合隣保館事業計画（案）について (5) その他	12
2	8月29日	(1) 令和元年度同和教育セミナーについて (2) 令和元年度総合隣保館事業実施状況について (3) 令和元年度人権フォーラムの開催について (4) 第36回総合隣保館文化祭について (5) その他	14

3	3月26日	(1) 令和元年度総合隣保館事業実施状況について (2) 令和元年度総合隣保館利用状況について (3) 令和元年度総合隣保館事業における成果と課題 (4) 令和2年度総合隣保館運営方針(案)について (5) 令和2年度総合隣保館事業計画(案)について (6) その他	書面開催 (新型コロナウイルス感染拡大のため)
---	-------	--	----------------------------

(2) 相談事業

地域住民の健康の増進と生活上の相談に応じるとともに、適切な指導・助言を行うことにより生活の社会的、経済的向上を図ることを目的として実施した。

相談事業の開催状況

区分	内 容		相談件数
相談事業	・経営相談	19件	計132件
	・税務相談	75件	
	・金融相談	8件	
	・労働相談	4件	
	・経理相談	1件	
	・人権相談	10件	
	・福祉相談	1件	
	・教育相談	0件	
	・職業相談	3件	
	・生活相談	6件	
	・その他	5件	

(3) 地域福祉事業

あらゆる人権問題の速やかな解決を図るため、各地区(集会所)等において福祉の増進、生活の向上をめざした事業を実施し住民の自立を支援した。

事業名	事業内容	実施回数	参加人数
ふれあい料理教室	旬の食材を使った料理や秋の健康料理教室を実施	1	12
子ども工作教室	夏休みに近隣の子どもたちで工作教室を実施	1	9
料理教室	旬の食材を使った料理や健康料理教室を実施	1	8
手芸教室	手芸の制作を実施	1	16
合 計		4	45

(4) 啓発広報活動事業

あらゆる人権問題に対する理解と認識を深め、その解決に資するため、自主的に研修する市民の集いとして、同和教育セミナー等各種講演会を開催するとともに、啓発広報活動として広報誌を発行した。

ア 啓発活動事業

(ア) 同和教育セミナー

広く市民が同和問題を正しく理解し、同和問題の解決のために必要な知識を得るための研修の場として実施した。

回	開催日・会場	内 容	参加人数
1	6月14日 教育センター	テーマ「部落問題の源流へ ＜部落史の見直し＞を踏まえて」 (講師) 京都産業大学 本郷 浩二	108
2	6月21日 吉川町公民館	テーマ「部落差別とは何か ～仕事を通じて学んだこと～」 (講師) (一社)ひょうご部落解放・人権研究所 事務局 高 吉美	83

3	6月28日 教育センター	テーマ「地域に暮らす外国人たち ～言葉の壁を越え、心の距離を縮めるには～」 (講師) 三木市国際交流協会 事務局長 河越 恭子	128
合 計			319

(イ) 人権フォーラム

あらゆる人権問題について、身近な市民の方が願いや意見、体験を発表することにより、お互いにふれあいを図るとともに、認識を深めることで、市民の人権意識が高揚することを目的として実施した。

回	開催日・会場	内 容	参加人数
1	10月18日 総合隣保館	作文朗読「お兄ちゃんの近くの交流」 作文朗読「だれもが笑顔でくらせるように」 「三木市の生活や仕事についてびっくりしたこと」 「要約筆記の出会いから」	104
2	10月23日 総合隣保館	「いろいろなありがとう」(作文朗読) 「ともだち集会 ～児童が力を合わせて創りあげる人権劇～」 「三木合戦と三木飛行場」	114
3	10月25日 総合隣保館	作文朗読 「障がいのある人との関りから学んだこと」 「移民と DEKASSEGUI」 「就労継続支援の取り組みをとおして ～ジョブコーチとして皆様へのお願い～」	94
合 計			312

(ウ) 三木市立総合隣保館文化祭記念講演会等

12月の人権週間に実施する意義と人権について学ぶことの大切さを伝える場として、また、あらゆる人権問題について感性に訴え、人権意識の普及、高揚を図ることを目的として実施した。

開催日	内 容	参加人数
12月7日	「ああ～めでたい！ふれあい夜神楽」 太神楽師 豊来家玉之助	61
12月8日	テーマ「新しい視点から部落問題を考える －部落問題研究40年からみえてきたもの－」 (講師) 関西大学名誉教授 石元 清英	127

(エ) 総合隣保館視察研修会(フィールドワーク)

同和問題をはじめとする人権問題について、知識と見識を深め人権感覚を磨く場として実施した。

開催日	行 き 先	参加人数
9月1日	神戸華僑の歴史と孫文	14

(オ) 図書の充実と利用

- ・貸出冊数 99冊
- ・貸出人数 45人
- ・購入冊数 18冊

イ 広報活動事業

(7) 隣保館だよりの発行

- ・発行部数 毎月発行4,600部
- ・配布先 市内全自治会(回覧)、公共施設、各支部等

(イ) 啓発冊子「しあわせに生きる」の発行

- ・発行部数 1,200部（年1回）
- ・配布先 各種団体代表、教育機関、公共施設、各支部等

(5) 教養文化及びその他に関する事業

地区住民の教養文化の向上と生活改善を図るとともに、周辺地域住民の参加により交流を促進することによって、人権・同和問題の解決を図った。

ア 教養文化講座

NO	教室名	実施回数	延べ参加人数	指導者	備考
1	着付教室	20	98	小西修子	月2回 令和2年3月末で終了
2	習字教室	18	72	富岡式子	月2回 令和元年12月末で終了
3	手芸教室	24	107	嶋田千津子	月2回
4	茶道教室	37	108	杉本さわゑ	月3回
5	書を楽しむ きらきら 書道教室	13	153	藤原常貴	月1回
合計		112	538		

イ 生活講座及び教養文化講座関連事業

事業名	実施日	内容	参加人数
フラワーアレンジメント教室	12月28日	テーマ「新春を生ける」 講師 田中真紀	12
	2月28日	テーマ「ひなまつり」 講師 田中真紀	10
合計			22

ウ 子ども教室

小学校低学年を対象にさまざまな体験をとおして、明るく、たくましく、やさしい心を育むことを目的に実施した。

(ア) 夏休み子ども教室

夏休み期間中、園児及び児童（小学校1～3年生）を中心に、夏休み中の生活をリズムカルに楽しく、充実したものとするために実施した。

教室名	実施回数	延べ参加人数	指導者	備考
夏休み子ども教室	9	91	退職教員等	夏休み中9日間
夏休みバス遠足	1	12	館職員	森永乳業神戸工場 バンドー青少年科学館
計	10	103		

(イ) 子ども教室

物づくりに興味を持たせるとともに、体力づくり、知的好奇心の高揚、交流での仲間づくりをとおして人権感覚を培うために実施した。

教室名	実施回数	延べ参加人数	指導者	備考
土曜子ども教室	17	159	館職員	主に第2・4土曜日

(ウ) 総合隣保館文化祭

豊かな人間関係と人権を大切にす共生の社会を築き、共に人権文化を創造していくことを目的とし、多くの市民が人権と差別について学び、交流する文化の祭典として人権週間の期間中に開催した。

開催日	内 容	参加人数
12月7日	囲碁ボール大会、交流もちつき大会 子どもたち全員集合、前夜祭	1,250
12月8日	記念講演会 各種展示・発表・催物等	

(6) 社会調査研究について

地域の実情を的確に把握し、福祉の向上につなげるため、高齢者世帯への訪問・面談調査を実施した。

訪問地区	訪問対象世帯数(戸)	面談世帯数(戸)
A地区	8	5
B地区	11	11
C地区	8	2
D地区	6	0
E地区	3	3
F地区	5	5
G地区	34	34
H地区	11	6
I地区	7	7
合 計	93	73

## 10 子どもいじめ防止センターに関すること

(1) いじめ相談等の受付及び対応状況

ア 相談日及び時間 月曜日～金曜日(祝日、年末年始除く) 午前9時～午後5時

イ 相談受付の件数内訳(月別)

		月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
方 法	面接相談			1	2	1		1				1	1	2	9
	電話相談		12	11	18	10	6	4	3	4	5	4	11	6	94
内 容	いじめ		12	12	20	11	4	5	3	3	5	5	12	6	98
	その他(※)						2			1				2	5
相 談 者	本人			1	2	1		1			2	1		2	10
	家族		11	11	18	10	6	4	3	4	3	3	7	5	85
	友人・知人														
	地域・関係機関		1									1	5	1	8

※ その他・・・児童虐待、課題研究、対人関係の悩み、要望など

ウ 対応状況

相談者に寄り添い、話を聞くとともに、相談者と共に解決方法を考える姿勢で相談を受けた。

相談者の了解を得た上で学校等への情報提供を行った事案については、情報提供後も学校に様子を聞くなど、学校等と連携し解決に努めた。

なお、子どもいじめ防止センターへの相談のうち、子どもの生命、心身又は財産に関わる重大ないじめ事案はなかった。

(2) 広報・啓発活動

ア 啓発カードの配布

学校や公共施設等に設置した。

イ 啓発クリアフォルダーの配布

7,000 枚を作成し、全小中学生に配布した。

ウ 啓発ポスターの掲示

ポスターカレンダー1,000 枚を作成し、学校、自治会、公共施設、病院、大型店舗などに掲示した。

エ 子どもいじめ防止センターだよりの発行

親子でいじめについて話し合うきっかけづくりとして、各学期に1回発行し、全小中学生へ配布するとともに、市内各自治会へ回覧した。

号	発行月	内容	発行部数
18号	令和元年7月	ネットいじめに気をつけよう	各10,000部
19号	令和元年12月	いじめのないまちづくりをめざして	
20号	令和2年3月	相談しやすい環境づくりの大切さ	

オ 「いじめから子どもを守ろう出前 mini 講座」の実施

保護者や地域住民に子どものいじめについて考える機会をつくるため、市内事業所や自治会等に呼び掛け、子どもいじめ防止センター職員による講座を実施した。

テーマ	学校、家庭や地域で子どもを見守ることの重要性について	
実績	実施回数8回 (対象 住民学習指導者研修、市内事業所、自治会住民学習等)	参加人数 345

カ 弁護士によるいじめ防止出前授業の実施

弁護士が、人権の視点からいじめについての出前授業を行うことにより、いじめを防止する意識を育成するため、兵庫県弁護士会の協力を得て、中学校5校17クラスで実施した。

キ 講演の実施

市民、保護者及び教職員のいじめ問題に対する理解と認識を深めるため、講演を関係機関の大会において共催した。

三木市連合 PTA 研究発表会記念講演会（三木市連合 PTA 共催）

開催日	場所・講師	内容	参加人数
2月9日	三木市教育センター 大研修室 講師：スクールカウンセラー 中村 経子	講演「誰ひとり取り残さない教育環境をめざして～スクールカウンセラーの視点から～」	190

(3) 教育委員会及び学校との連携

教育委員会といじめ防止対策推進法に関する市の対応やいじめに関する情報に関して情報交換などを行った。

また、市内小中特別支援学校全25校を2回訪問し、学校いじめ防止基本方針の策定状況や学校の状況を聞くとともに、連携について話し合った。